



地域のための再生可能エネルギーとは？

その現在と未来について、アジア6カ国の実践者・研究者が集い、各国の事例と北海道での視察経験をもとに語り合います。

14:00 - 14:15	開会あいさつ トヨタ財団 遠山敦子理事長、北海道
14:15 - 15:00	基調講演 ①「アジアの再生可能エネルギー」 石原慶一氏 ②「北海道の再生可能エネルギーと地域活性化の展望」 吉田文和氏
15:00 - 15:10	芦別・夕張再生可能エネルギープロジェクト視察&ワークショップ報告 李秀澈氏
15:10 - 15:20	(休憩)
15:20 - 16:50	事例報告 ① チャチャワン・チャイチャナ氏 「再生可能エネルギーによる地域での企業の取り組み」 ② ファイサル・ラハディアン氏 「地域ベース小水力発電プロジェクトの取り組み」 ③ 高橋祐二氏 「下川町における森林バイオマスエネルギーの取り組み」 ④ 鈴木亨氏 「北海道における市民風車の取組み」 報告者によるパネルディスカッション「北海道及びアジアの地域と再エネの未来」 コーディネーター：松浦正浩氏 質疑応答
16:50 - 17:00	閉会あいさつ 秋山記念生命科学振興財団 秋山孝二理事長

○ 登壇者プロフィール(登壇順)

石原慶一氏 (京都大学エネルギー科学研究科教授)

京都大学大学院工学研究科博士課程修了。将来のエネルギーについて、基盤技術から実現可能なシナリオまでを研究対象に、基礎技術を社会に活かして豊かな社会を構築すべく、様々な人材育成・社会活動を行っている。

吉田文和氏 (北海道大学名誉教授)

京都大学大学院経済学研究科博士課程修了。専門は環境経済学、産業技術論。2007年より北海道大学「持続可能な低炭素社会づくり」プロジェクト実施に尽力した。

李秀澈氏 (名城大学経済学部教授)

韓国・ソウル大学農学部卒業、1999年に京都大学大学院経済学研究科博士課程修了。主な研究テーマはアジアにおける環境と経済が共存できる社会・経済システムの構築。

チャチャワン・チャイチャナ氏

(タイ・チェンマイ工学部准教授環境エネルギー技術研究センター所長)

タイ・チェンマイ生まれ。専門領域はバイオガスを中心とした再生可能エネルギー技術。2007年頃からタイ及びミャンマーで多くの再生可能エネルギーを用いた地域開発プロジェクトに携わっている。

○ 申込方法

10月3日(土)までに、下記より事前の参加登録をお願い致します。

<https://goo.gl/qRN73f>

※参加申込フォームが使えない場合は、お電話・FAXにて必要事項を添えてお申込ください。
※電話受付は平日のみとなります。

[必要事項]お名前、ご所属、電話番号、メールアドレス

○ 申込・問合せ先

北海道再生可能エネルギー振興機構 担当：田原

TEL 011-223-2062 FAX 011-223-2063



ファイサル・ラハディアン氏 (インドネシア・インドネシア小水力協会事務局長)

インドネシア西ジャワ州バンドン生まれ。1999年、「インドネシア小水力協会」設立。インドネシア国内での小水力発電プロジェクト支援に加え、ASEAN地域での自然エネルギーネットワーク形成、技術移転にも取り組む。

高橋祐二氏 (下川町森林総合産業推進課バイオマス産業戦略室 室長)

1968年下川町生まれ、1990年下川町に奉職、2000年からバイオマスエネルギーを担当。

鈴木亨氏 (NPO法人北海道グリーンファンド理事長)

1957年、北海道美唄市生まれ。生活クラブ生活協同組合北海道職員を経て、1999年、NPO法人北海道グリーンファンドを設立。日本初の市民出資による風力発電事業に取り組む。北海道再生可能エネルギー振興機構理事長を兼務。

松浦正浩氏 (東京大学公共政策大学院特任准教授)

東京大学工学部土木工学科卒。マサチューセッツ工科大学都市計画学科修士・PhD課程修了。専門領域は合意形成論、環境政策、市民参加手法。著書に『実践!交渉学 いかにか合意形成を図るか』(ちくま新書)等。

